

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	2/
支出年月日	2022年 8月 4日
項 目 (該当項目に0をつけてください)	調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費
	会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)	
充 当 内 容 (按分の計算方法)	コピー機リース代 $¥18,480 \times 0.9 = ¥16,632-$
そ の 他	

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けしないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずクリップで留めて提出してください。

日本共産党葛屋市議会議員団 御中

領 収 証

発行日 2022年08月08日

領収証番号

リコーリース

東京都千代田区紀尾井町4-

毎々格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。お知らせ申し上げます。下記金額を正に領収させていただきましたこと、お知らせ申し上げます。

領 収 日	2022年 8月 4日
領 収 額	18,480 円

印紙税出告納付につき趣町税務署承認済

お支払方法 口座振替 現金振替

振替口座 口座振替 現金振替

振替口座番号 口座振替 現金振替

振替口座番号の下3桁は、お客様情報保護のため「***」と表示しています。

領収明細書

明 細 番 号	請 求 期 間	回 数	金 額	消 費 税 等
[REDACTED]	22. 8. 1~22. 8. 31	16	16800	1680

続きは裏面をご覧ください。

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	22				
支出年月日	2022年 8月 19日				
項目 (該当項目に〇をつけてください)	調査研究費	研修費	〇 広報費	広聴費	要請・陳情活動費
	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)					
充当内容 (按分の計算方法)	223 市議団 = 2 - ス平野版 ¥188,540 14,700部 振込手数料 ¥440				
その他	¥188,980 -				

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

659-8501
 芦屋市精道町7-6
 芦屋市議会内

請求書

(株)関西共同印刷所

〒531-0076 大阪府北区茨田中3丁目15番5号
 TEL:06-6452-1188(総務部)
 TEL:06-6453-2564(営業部)

取引銀行

日本共産党芦屋市会議員団 様

名義・カード決済のみの取引先

下記の通り請求致します。

区分	商品名	数量	単位	単価	金額	摘要
売上	芦屋市議団用紙A4×223号 平野版 B4×2	14,700			166,000	(税抜き金額)
売上	新聞折込代	1,800			5,400	(税抜き金額)
備考					171,400	合計
					17,140	合計
					188,540	



あましんキャッシュサービスご利用明細票

いつもご利用いただきありがとうございます

お取引内容
 お振込
 お取扱日
 22-08-19
 振込枚数
 500 | 100 | 50 | 10 | 5 | 1
 お取引金額
 ￥188,540

お取扱店
 手数料
 ￥440
 お取引手数料
 1223

印紙控申告
 付につき尼崎
 税務署へ送付

銀行
 振込番号
 カ) カシオキヨクトウカイシャリョ
 ニホキヨウケン
 電話番号
 振込番号
 支店
 電話番号
 尼崎信用金庫

裏面の二案内もあわせてご確認ください。

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。



2022年 夏号 発行 ● 日本共産党芦屋市議会議員団
住所: 〒659-8501 芦屋市精道町7番6号 電話: 0797-38-2047 (FAX兼) Eメール: a-jcp@helen.ocn.ne.jp

平野貞雄

憲法が生きる芦屋市政に!

議

会に臨み、行政に向き合うときに常に念頭にあるのは「憲法を生かす」ということ。大前提に11条、97条(基本的人権)があり、くらしや福祉では25条(文化的生存権)、教育なら26条(教育権)…等々、それらがなお実現していないところに「憲法を生かす」ことを意識せねばならない現状があります。そしてそれまた憲法が私たちに求めていることでもあります(12条(自由・権利の保持責任))。

近年では国保負担軽減等の生活支

援、マンション防災など災害対応、行政デジタル化にからむ自治と人権などを繰り返し取り上げていますが、議員になって取り上げ続けているのが平和の問題です。二度と住民に赤紙(召集令状)を配らないとの誓いで、戦後出発した地方自治体が再び間違った道に進まないようにとの思いからです。ウクライナ情勢を逆手に取った軍拡さらには憲法改悪が前のめりに進められようとしている今だからこそ、地方自治体がくらしと平和を守る拠り所であってほしいと思うのです。

SADAO HIRANO

Profile

1956年生まれ、奈良県出身、関西学院大学法学部卒。

1983年市会議員当選、現在9期目、各常任委員会委員長、副議長等歴任。

兵庫県平和委員会常任理事、原水爆禁止兵庫県協議会常任理事、国民救援会西宮芦屋支部常任委員、東神戸医療互助組合芦屋支部運営委員として、市民と共に平和・民主主義・人権・社会保障を守り生かす活動に参加。



物価高騰!

学校給食費に物価高補助

物価高騰が学校給食の材料費にも影響しています。このままでは今までの「芦屋の給食」の質や量が維持できません。保護者の負担なく給食の内容を維持できるように、国の「地方創生臨時特別給付金」を使って、給食費への補助が行われることが決まりました。

しかし、全校合わせて400万円ほどの予算であり、1食あたり5円程の補助にしかなりません。給食の質は保たれるのか?との問いに「創意工夫していく」との答弁がありました。

地方自治体にこうした負担を押し付けるのではなく、国の責任において長引く物価高騰に歯止めをかけることが必要だと考えます。(ひろせ)



脱炭素社会に向けて?

指定ごみ袋制度がスタートします



指 定ごみ袋制度の導入に関する議案が提出され、全会一致で採択されました。2023(令和5)年10月から本格導入されます。燃えるごみ、その他燃やさないごみを排出する際にこの指定ごみ袋を使用します。

史上初となる6月の梅雨明け、すでに国内では40度を観測するほど異常気象が続いています。指定ごみ袋にはCO₂の排出量を抑制する素材が使われます。他市の導入事例によれば、ごみ排出量の削減やゴミ分別に効果が得られるとされています。指定ごみ袋の導入は、プラスチックごみの分別検討と並んで重要と考えますが、本格導入までに市民合意を得る努力は必要だと思います。(ひろせ)

地球温暖化は
まったなしの状況です



報告会

Date / 7月30日(土)10時00分~
Place / 芦屋浜管理センター 3階 小会議室
6月議会のご報告です。お気軽におこしください。
※会場はおまらげの無いようにご注意ください。

相談会

Date / 8月10日(水)18時~20時
Place / 市民センター208室
濱本由弁護士が同席します
できれば議員に電話でご予約を(当日受付は19時まで)

一般質問

すべての子どもに無料の医療を/国保料の負担軽減を

子ども医療費無料化が広がっています。芦屋市では7年前に、中学卒まで拡大されましたが、小学4年生から所得制限があります。全国では年齢や所得制限の緩和・撤廃などがさらに進み、県下でも半数の自治体が中学卒まで所得制限がありません。芦屋でも所得制限廃止を求めました。

昨年12月の議会で提起した所得の低い世帯に重い負担となっている国民健康保険料の応益割(※)の軽減に向けた検討状況について質問。市は、なお検討中との答弁でしたが、その後今年度の応益割据え置きが示されました。

※世帯ごとの「均等割」と世帯人数ごとの「平等割」があります。

他に、昨年6月、9月各議会でとりあげた行政デジタル化について



Sadao Hirano

name: 平野貞雄
TEL / 0797(22)0248
E-mail / hirano4@nifty.com



Kumiko Hirose

name: ひろせくま子
TEL / 090(1951)0724
E-mail / kumikuma-50@zeus.eonet.ne.jp

公営住宅の「課題」を指摘!/高齢者医療費の2倍化にNO

住宅政策については、公営住宅の役割、現在の市営住宅の現状、管理などに絞って質問しました。公営住宅は、憲法25条生存権に則り住宅に困窮した人のために建設されています。本市では年1回の応募によって困窮度を算定し、空室が出れば速やかに修繕し順次斡旋されます。希望される条件に合わず空室があるのが現状です。高齢化が進み居住者が管理する共益費の運営にも課題があります。60歳以上という年齢制限を撤廃し、公営住宅の理念に照らし誰もが住宅困窮に陥らないよう求めました。

後期高齢者医療については、市はどのように考えているのかを質しました。



Ayumi Kawashima

name: 川島あゆみ
TEL / 070(5037)9134
E-mail / kawashima.ayumi.san.1453@gmail.com

子どもたちに安心・安全な給食を無償で

物価高騰の中で、いまの給食費(※)だけで質を維持できるのか?という疑問から質問を予定していましたが、一足早く市から給食材料費の補正予算が提案されました(表面参照)。

一方で、全国的には給食費を無償にしている自治体も少しずつ増えています。また、家計応援策の一環で、期間限定で給食費を無償にする自治体もあります。芦屋市でも給食費無償化を求めましたが、市の答弁は「無償化については考えていない」と後ろ向きでした。義務教育は無償と定められています。給食も「食育」という教育の一環であることから、無償化に向けて動くべきだと考えます。

※現在、芦屋の給食費は材料費(一食あたり小学校250円、中学校290円)を保護者が負担し、人件費や光熱費など、それ以外の費用を市が負担しています。

市独自の支援策を

補正予算討論で指摘

ワクチン接種などコロナ感染防止対策や生活支援対策を中心とした補正予算が出されました。異次元の金融緩和(アベノミクス)が継続される中で物価高が国民生活の厳しさに追い打ちをかけています。討論では、学校給食支援事業(別掲参照)を評価しつつ、国が機敏・的確に対策をとらず場当たりのとも思える中で、住民にもっとも身近な自治体として、国が示す枠内にとどまらない自治体独自の政策判断による支援策(例 一昨年に実施された上下水道基本料金減免など)を求めました。(ひらの)



JR芦屋駅南地区再開発

調査特別委員会では、バスロータリーの地下に設置される駐輪場の整備(集約化)のスケジュールや、台数についての基本的な考えが示されました。(かわしま)

委員会資料はこちら



少人数学級と義務教育費の国庫負担率引き上げを求める請願に賛成◎

討論では、県内の小中学校と特別支援学校で教員168人が不足していること(※)や、芦屋市内の小中学校で先生が不足し、やむなく教頭が担任となったケースを紹介。ゆとりをもって児童・生徒や保護者に向き合えるように、少人数学級を前に進め、教職員を続けたいと思える環境を作っていくことが一番であることから賛成しました。また、市に対してもスクールサポートスタッフの更なる配置など、積極的な施策を求めました。(かわしま)

※兵庫教職員組合調べ

国へ意見書が提出されます



政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	25
支出年月日	2022年 8月 19日
項目 (該当項目に0をつけてください)	調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄（支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。）	
充当内容 (按分の計算方法)	市議団 ニース 223 広瀬片反 ¥209,000 - 16,500 部 振込手数料 ¥440
その他	¥209,440 -

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

659-8501
芦屋市精道町7-1-6
芦屋市議会内

請求書

（株）関西共同印刷所

〒531-0076 大阪府北区大塚中3丁目15番5号
TEL 06-6452-1188（総務部）
TEL 06-6452-1189（印刷部）

取引銀行

日本共産党芦屋市会議員団 様

下記の通り請求致します。

区分	商品名	数量	単位	単価	金額	摘要
売上	芦屋市議団用紙A4223号 広瀬版 B4×2	16,500			187,000	(税抜き金額)
売上	新聞折込代	1,000			3,000	(税抜き金額)
備考					190,000	合計
					19,000	合計
					209,000	合計



あましんキヤッシュサービスご利用明細票

いつもご利用いただきありがとうございます

お取引内容 振込 振込日 22-08-11 振込額 500,100.50 手数料 5.1 振込手数料 10.10 振込金額 500,100.50

お振込店 072 手数料 ￥440 振込額 1222 ****

お振込金額 ￥209,000

印紙税申告納付につき尼崎税務署承認済

銀行 口座番号 [REDACTED] 振込番 [REDACTED] 支店 [REDACTED] 電信扱

カ) カシキョクトウインテグレーション 株

ニホキョクトウインテグレーション 株

電話番号 [REDACTED]

尼崎信用金庫

裏面のご案内もあわせてご覧ください。

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けしないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

No.
223

2022
SUMMER

JCP Ashiya City council report

日本共産党

芦屋市議団

news

6月議会のご報告です!!



ひろせ久美子

2022年 夏号 発行 ● 日本共産党芦屋市議会議員団
住所: 〒659-8501 芦屋市精道町7番6号 電話: 0797-38-2047 (FAX兼) Eメール: a-jcp@helen.ocn.ne.jp

市民の暮らしに寄り添うことが第一!

物 価高騰が続いています。食料品やガス、電気代も値上がり、私たちの暮らしは厳しくなっています。にもかかわらず、今年も6月から年金が0.4%引き下げられました。今年の10月からは、75歳以上の高齢者の内、単身200万円以上、複数世帯320万円以上の層については、医療費窓口負担を2倍にするといわれています。芦屋では約3600人が対象となるようです。

窓口負担が2倍になれば、医療を受けたくても受けることをためらう方がいるの

ではないでしょうか?誰もが安心して医療を受けられ、高齢者も安心して元気に長生きできる社会にすべきだと考えます。また、社会保障や福祉を削ることは、結果的に高齢者の家族である若い世代に負担を押しつけることにもつながります。

芦屋市に住む誰もが安心し、笑顔で幸せに暮らせるよう、市民の皆さんの声を聴き、共に考え行動してまいります。



KUMIKO HIROSE

Profile

1964年芦屋生まれ芦屋育ち。

打出小植幼稚園、宮川小学校、神戸松蔭中学校、高等学校、兵庫女子短期大学初等教育学部卒。

会社員を経て公文教室を経営。打出浜小学校や神戸松蔭PTA歴任。

芦屋市議会議員現在2期目。

春日町自治会役員、神戸松蔭同窓会千と勢会副会長、東神戸病院医療互助組合理事、芦屋民主商工会婦人部副部長。

家族は夫、娘2人。

好きなことは、美味しいものを食べる。舞台や映画、韓国ドラマ、BTS鑑賞。

物価高騰!

学校給食費に物価高補助

物価高騰が学校給食の材料費にも影響しています。このままでは今までの「芦屋の給食」の質や量が維持できません。保護者の負担なく給食の内容を維持できるように、国の「地方創生臨時特別給付金」を使って、給食費への補助が行われることが決まりました。

しかし、全校合わせて400万円ほどの予算であり、1食あたり5円程の補助にしかなりません。給食の質は保たれるのか?との問いに「創意工夫していく」との回答がありました。

地方自治体にこうした負担を押し付けるのではなく、国の責任において長引く物価高騰に歯止めをかけることが必要だと考えます。(ひろせ)



脱炭素社会へ向け?

指定ごみ袋制度がスタートします



指 定ごみ袋制度の導入に関する議案が提出され、全会一致で採択されました。2023(令和5)年10月から本格導入されます。燃えるごみ、その他燃やさないごみを排出する際にこの指定ごみ袋を使用します。

史上初となる6月の梅雨明け、すでに国内では40度を観測するほど異常気象が続いています。指定ごみ袋にはCO₂の排出量を抑制する素材が使われます。他市の導入事例によれば、ごみ排出量の削減やゴミ分別に効果が得られるとされています。指定ごみ袋の導入は、プラスチックごみの分別検討と並んで重要と考えますが、本格導入までに市民合意を得る努力は必要だと思います。(ひろせ)

地球温暖化はまったなしの状況です



市政報告会

Date / 7月30日(土) 10時00分~
Place / 芦屋浜管理センター 3階 小会議室
6月議会のご報告です。お気軽におこしください。
※会場はおまちがえの無いようご注意ください。

相談会

Date / 8月10日(水) 18時~20時
Place / 市民センター208室
濱本由弁護士が同席します
できれば議員に電話でご予約を(当日受付は19時まで)

一般質問

すべての子どもに無料の医療を/国保料の負担軽減を

子ども医療費無料化が広がっています。芦屋市では7年前に、中学卒まで拡大されましたが、小学4年生から所得制限があります。全国では年齢や所得制限の緩和・撤廃などがさらに進み、県下でも半数の自治体が中学卒まで所得制限がありません。芦屋でも所得制限廃止を求めました。

昨年の12月議会で提起した所得の低い世帯に重い負担となっている国民健康保険料の応益割(※)の軽減に向けた検討状況について質問。市は、なお検討中との答弁でしたが、その後今年度の応益割据え置きが示されました。

※世帯ごとの「均等割」と世帯人数ごとの「平等割」があります。

他に、昨年の6月、9月各議会でとりあげた行政デジタル化について

Portrait of Sadao Hirano. Name: 平野 貞雄. TEL / 0797 (22) 0248. E-mail / hirano4@nifty.com

Portrait of Kumiko Hirose. Name: ひろせ 久美子. TEL / 090 (1951) 0724. E-mail / kumikuma-50@zeus.eonet.ne.jp

公営住宅の「課題」を指摘!/高齢者医療費の2倍化にNO

住宅政策については、公営住宅の役割、現在の市営住宅の現状、管理などに絞って質問しました。公営住宅は、憲法25条生存権に則り住宅に困窮した人のために建設されています。本市では年1回の応募によって困窮度を算定し、空室が出れば速やかに修繕し順次斡旋されます。希望される条件に合わず空室があるのが現状です。高齢化が進み居住者が管理する共益費の運営にも課題があります。60歳以上という年齢制限を撤廃し、公営住宅の理念に照らし誰もが住宅困窮に陥らないよう求めました。

後期高齢者医療については、市はどのように考えているのかを質しました。

子どもたちに安心・安全な給食を無償で

物価高騰の中で、いまの給食費(※)だけで質を維持できるのか?という疑問から質問を予定していましたが、一早く市から給食材料費の補正予算が提案されました(表面参照)。

一方で、全国的には給食費を無償にしている自治体も少しずつ増えています。また、家計応援策の一環で、期間限定で給食費を無償にする自治体もあります。芦屋市でも給食費無償化を求めましたが、市の答弁は「無償化については考えていない」と後ろ向きでした。義務教育は無償と定められています。給食も「食育」という教育の一環であることから、無償化に向けて動くべきだと考えます。

※現在、芦屋の給食費は材料費(一食あたり小学校250円、中学校290円)を保護者が負担し、人件費や光熱費など、それ以外の費用を市が負担しています。

Portrait of Ayumi Kawashima. Name: 川島 あゆみ. TEL / 070 (5037) 9134. E-mail / kawashima.ayumi.san.1453@gmail.com

市独自の支援策を 補正予算討論で指摘

ワクチン接種などコロナ感染防止対策や生活支援対策を中心とした補正予算が出されました。異次元の金融緩和(アベノミクス)が継続される中で物価高が国民生活の厳しさに追い打ちをかけています。討論では、学校給食支援事業(別掲参照)を評価しつつ、国が機敏・確に対策をとらず場当たり的とも思える中で、住民にもっとも身近な自治体として、国が示す枠内にとどまらない自治体独自の政策判断による支援策(例 一昨年に実施された上下水道基本料金減免など)を求めました。(ひらの)



JR芦屋駅南地区再開発

調査特別委員会では、バスロータリーの地下に設置される駐輪場の整備(集約化)のスケジュールや、台数についての基本的な考えが示されました。(かわしま)

委員会資料はこちら



少人数学級と義務教育費の国庫負担率引き上げを求める請願に賛成

討論では、県内の小中学校と特別支援学校で教員168人が不足していること(※)や、芦屋市内の小中学校で先生が不足し、やむなく教頭が担任となったケースを紹介。ゆとりをもって児童・生徒や保護者に向き合えるように、少人数学級を前に進め、教職員を続けたいと思える環境を作っていくことが一番であることから賛成しました。また、市に対してもスクールサポートスタッフの更なる配置など、積極的な施策を求めました。(かわしま)

※兵庫教職員組合調べ

国へ意見書が出されます



編集後記

梅雨明けの早さに驚きながら、暑い夏を迎えました。物価高騰が市民の暮らしに直撃する中で参院選でした。めげずに頑張る日本

共産党は、7月15日で党を創立して100年を迎えました。ご期待に応えられるよういっそう努力します。(かわしま)

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	24
支出年月日	2022年 8月 19日
項目 (該当項目に0をつけてください)	調査研究費 研修費 <u>広報費</u> 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)	
充当内容 (按分の計算方法)	市議団コース223 11/島版 ¥134,200 - 10800音 振込手数料 ¥440 -
その他	¥134,640 -

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

No.
223

2022
SUMMER

JCP Ashiya City council report

日本共産党

芦屋市議団

news

6月議会の
ご報告です!!



2022年 夏号 発行 ● 日本共産党芦屋市議会議員団
住所: 〒659-8501 芦屋市精道町7番6号 電話: 0797-38-2047(FAX兼) Eメール: a-jcp@helen.ocn.ne.jp



川島あゆみ

AYUMI KAWASHIMA

Profile

1984年生まれ石川県出身。

石川高専建築学科卒業、三重大学大学院修了(工学修士)。

2010年より芦屋市役所で建築技術職として勤務。兵庫県・宝塚土木事務所へ3年間出向。

2019年より芦屋市議会議員(1期目)。現在、建設公営企業常任委員会(委員長)、JR芦屋駅南地区再開発事業調査特別委員会に所属。

家族は夫と息子。趣味は一人旅。

公立幼稚園での3年保育実現に全力!

議員になって最初の議会で取り上げた質問テーマが「3年保育(※)」でした。市長から「試験的に1園で実施する」という答弁があり、その後、岩園幼稚園で令和3年度よりスタートしています。

3歳児の受け入れは、園全体の子どもの教育に良い影響があることはもちろんのこと、延長保育を組み合わせることで、働く保護者の受け皿にもなると考えます。

今回の6月議会では、岩園幼稚園での

結果を踏まえ、更なる3年保育の拡充を求めて質問しました。しかし、コロナ禍によって芦屋市内の出生数が大幅に減っていることから、市の答弁は拡充に前向きではなく、むしろ後退していたように感じました。確かに、新型コロナ感染拡大は予期せず私たちの生活に影響を与えました。しかし、その間にも子育てしやすい環境を作り続けることが、結果的に少子化を食い止める一番の近道ではないのでしょうか。

※芦屋市内の公立幼稚園は、4・5歳児を受け入れる「2年保育」が基本です。一方で、市内外の私立園は3歳児から受け入れているため、公立幼稚園に児童が集まらないという問題提起をしてきました。



物価
高騰!

学校給食費に物価高補助

物価高騰が学校給食の材料費にも影響しています。このままでは今までの「芦屋の給食」の質や量が維持できません。保護者の負担なく給食の内容を維持できるように、国の「地方創生臨時特別給付金」を使って、給食費への補助が行われることが決まりました。

しかし、全校合わせて400万円ほどの予算であり、1食あたり5円程の補助にしかなりません。給食の質は保たれるのか?との問いに「創意工夫していく」との答弁がありました。

地方自治体にこうした負担を押し付けるのではなく、国の責任において長引く物価高騰に歯止めをかけることが必要だと考えます。(ひろせ)



脱炭素社会へ向け?

指定ごみ袋制度が
スタートします



指定ごみ袋制度の導入に関する議案が提出され、全会一致で採択されました。2023(令和5)年10月から本格導入されます。燃えるごみ、その他燃やさないごみを排出する際にこの指定ごみ袋を使用します。

史上初となる6月の梅雨明け、すでに国内では40度を観測するほど異常気象が続いています。指定ごみ袋にはCO₂の排出量を抑制する素材が使われます。他市の導入事例によれば、ごみ排出量の削減やゴミ分別に効果が得られるとされています。指定ごみ袋の導入は、プラスチックごみの分別検診と並んで重要と考えますが、本格導入までに市民合意を得る努力は必要だと思います。(ひろせ)

地球温暖化は
まったなしの
状況です



市
政
報
告
会

Date / 7月30日(土)10時00分~
Place / 芦屋浜管理センター 3階 小会議室
6月議会のご報告です。お気軽におこしください。
※会場はおまちがえの無いようご注意ください。

相
談
会

Date / 8月10日(水)18時~20時
Place / 市民センター208室
濱本由弁護士が同席します
できれば議員に電話でご予約を(当日受付は19時まで)

一般質問

すべての子どもに無料の医療を/国保料の負担軽減を

子ども医療費無料化が広がっています。芦屋市では7年前に、中学卒まで拡大されましたが、小学4年生から所得制限があります。全国では年齢や所得制限の緩和・撤廃などがさらに進み、県下でも半数の自治体が中学卒まで所得制限がありません。芦屋でも所得制限廃止を求めました。

昨年の12月議会で提起した所得の低い世帯に重い負担となっている国民健康保険料の応益割(※)の軽減に向けた検討状況について質問。市は、なお検討中との答弁でしたが、その後今年度の応益割据え置きが示されました。

※世帯ごとの「均等割」と世帯人数ごとの「平等割」があります。

他に、昨年の6月、9月各議会でとりあげた行政デジタル化について



Sadao Hirano

name : 平野貞雄
TEL / 0797 (22) 0248
E-mail / hirano4@nifty.com



Kumiko Hirose

name : ひろせ久美子
TEL / 090(1951)0724
E-mail / kumikuma-50@zeus.eonet.ne.jp

公営住宅の「課題」を指摘!/高齢者医療費の2倍化にNO

住宅政策については、公営住宅の役割、現在の市営住宅の現状、管理などに絞って質問しました。公営住宅は、憲法25条生存権に則り住宅に困窮した人のために建設されています。本市では年1回の応募によって困窮度を算定し、空室が出れば速やかに修繕し順次斡旋されます。希望される条件に合わず空室があるのが現状です。高齢化が進み居住者が管理する共益費の運営にも課題があります。60歳以上という年齢制限を撤廃し、公営住宅の理念に照らし誰もが住宅困窮に陥らないよう求めました。

後期高齢者医療については、市はどのように考えているのかを質しました。

子どもたちに安心・安全な給食を無償で

物価高騰の中で、いまの給食費(※)だけで質を維持できるのか?という疑問から質問を予定していましたが、一早く市から給食材料費の補正予算が提案されました(表面参照)。

一方で、全国的には給食費を無償にしている自治体も少しずつ増えています。また、家計応援策の一環で、期間限定で給食費を無償にする自治体もあります。芦屋市でも給食費無償化を求めましたが、市の答弁は「無償化については考えていない」と後ろ向きでした。義務教育は無償と定められています。給食も「食育」という教育の一環であることから、無償化に向けて動くべきだと考えます。

※現在、芦屋の給食費は材料費(一食あたり小学校250円、中学校290円)を保護者が負担し、人件費や光熱費など、それ以外の費用を市が負担しています。



Ayumi Kawashima

name : 川島あゆみ
TEL / 070(5037)9134
E-mail / kawashima.ayumi.san.1453@gmail.com

市独自の支援策を

補正予算討論で指摘

ワクチン接種などコロナ感染防止対策や生活支援対策を中心とした補正予算が出されました。異次元の金融緩和(アベノミクス)が継続される中で物価高が国民生活の厳しさに追い打ちをかけています。討論では、学校給食支援事業(別掲参照)を評価しつつ、国が機敏・的確に対策をとらず場当たり的とも思える中で、住民にもっとも身近な自治体として、国が示す枠内にとどまらない自治体独自の政策判断による支援策(例一昨年に実施された上下水道基本料金減免など)を求めました。(ひらの)



JR芦屋駅南地区再開発

調査特別委員会では、バスロータリーの地下に設置される駐輪場の整備(集約化)のスケジュールや、台数についての基本的な考えが示されました。(かわしま)

委員会資料はこちら



少人数学級と義務教育費の国庫負担率引き上げを求める請願に賛成◎

討論では、県内の小中学校と特別支援学校で教員168人が不足していること(※)や、芦屋市内の小中学校で先生が不足、やむなく教頭が担任となったケースを紹介。ゆとりをもって児童・生徒や保護者に向き合えるように、少人数学級を前に進め、教職員を続けたいと思える環境を作っていくことが一番であることから賛成しました。また、市に対してもスクールサポートスタッフの更なる配置など、積極的な施策を求めました。(かわしま)

※兵庫教職員組合調べ

国へ意見書が出されます



政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	25
支出年月日	2022年 8月 24日
項 目 (該当項目に0をつけてください)	調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
	領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできません。)
充当内容 (按分の計算方法)	議案説明会 会場費 ¥2030-
その他	

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

市民センター

市民会館

施設使用許可書兼領収書

(申請者名)

平野 貞雄 様

(団体名)

日本共産党 芦屋市議会議員団

芦屋市長

使用日	使用施設名	定員	使用時間	種別	積算	金額
令和04年08月24日(水)	403室	25	18:00-21:30	通常	2,030 × 100%	2,030

※附属設備の明細は別紙を参照して下さい。	使用料合計	2,030
	附属設備使用料	0
	合計	2,030
	既納額	0
	受領額	2,030

注1 合計額を訂正したものは無効です。
 2 ご使用の条件については裏面をごらんください。

令和04年08月24日

芦屋市出納員 市民センター長
 取扱者 



25-2

注 意 事 項

- 1 許可書の提示 施設を使用するときはこの許可書を提示して、総合受付（鍵渡し場所）にて使用する部屋の鍵を受け取ってください。
- 2 使用許可時間 使用時間を厳守してください。なお、使用許可時間には、準備・後片付け・搬入・搬出等を含んでありますので、許可時間内をお願いします。
- 3 施設使用の変更 次の期日までに申し出があれば、1回に限り変更することができます。
施設の変更をする場合は、必ずこの使用許可書兼領収書をご持参ください。
なお、使用料の過不足が生じた場合は清算をお願いします。
 - ホールの施設 使用日の6カ月前
 - その他の施設 使用日の14日前
- 4 施設使用の取消 施設の使用を取消しする場合は、事前にご連絡をお願いします。なお、すでに納められた使用料は原則として還付できませんが、事前^に申し出て取消しを認められた場合は、次の申し出日の区分により還付します（10円未満切り捨て）。
 - ホールの施設 使用日6ヶ月前（80%）
使用日3ヶ月前（50%）
 - その他の施設 使用日14日前（50%）
 - 附属備品等 使用前（100%）* 棚・ロッカー等の還付については未使用の一月単位となります。
- 5 使用料の還付 施設の変更及び取消しに伴い還付金が生じる場合は、必ずこの使用許可書兼領収書と同書記載申請者の印鑑をご持参ください。持参されない場合は還付ができませんのでご注意ください。
- 6 使用時間の超過 やむを得ず使用時間を超過する場合は、30分に限り使用できますが、施設使用料の2割の額を納めて許可を受けてから使用してください。また、やむを得ず使用時間を繰り上げたい場合は、その時の申請状況により、同様の扱いを受けることができます。なお、開館前の繰上げ及び開館後の超過はできません。
- 7 問い合わせ先 〒659-0068
芦屋市業平町8番24号
芦屋市民センター
電話 0797 (31) 4995 / F A X 0797 (31) 4998
〈受付時間〉
平 日…9:00～17:30
日・祝日…9:00～17:00
休 館 日…毎週火曜日
夏季休暇（8月13・14日）
年末年始（12月27日～1月4日）

市政報告会

(9月市議会の議案説明等)

8月29日から始まる9月市議会の議案が8月22日に発表されます。つきましては、下記の通り、市民のみなさんへの説明等の市政報告会を日本共産党芦屋市議団として開催します。予定時間の範囲で市政に対するご意見・ご要望もお聞きします。お気軽にご参加ください。

8月24日(水)午後6時30分～8時

芦屋市民センター403室

*(コロナ感染が続く中ですので、マスク着用、検温の上ご参加ください。)

■9月市議会(前半)の主な日程■



- ・8月22日 議案説明会・全体協議会
- ・26日 全体協議会・議会運営委員会
- ・29日 本会議
- ・30日 建設公営企業常任委員会
- ・31日 民生文教常任委員会
- ・9月1日 総務常任委員会
- 2日 委員会(予備日)
- 6日 議会運営委員会
- 7～9日 本会議(一般質問)
- 16日 議会運営委員会
- 20日 本会議(議案採決・決算上程)

★決算議会のご案内

9月議会では20日本会議から「決算議会」が始まります。

9月21日～28日/委員会
(分科会)

10月4日/委員会(全体会)

10月7日/本会議(採決)

芦屋市議団 から
こんにちは

2022年8月 <8月①>
発行 日本共産党芦屋市議会議員団
芦屋市精道町7-6 芦屋市議会内
TEL・FAX 0797-38-2047
Eメール a-jcp@helen.ocn.ne.jp

政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号	26
支出年月日	2022年 8月 29日
項 目 (該当項目に〇をつけてください)	調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 人件費 事務所費
	領収書等貼付欄 (支出年月日と支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付けできます。)
<div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 50px;"> 04.08.29 4,400 SMBC(コウノシマ) </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;"> ¥4,400-金額確認済 </div>	
充当内容 (按分の計算方法)	神戸新聞 8月分 ¥4,400-
その他	

- * まとめて貼付けする場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- * 用紙裏面には何も貼付けないでください。
- * 領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降用に貼付けしてください。ただし、A4サイズのものや、広報紙などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。